

# HINO TEAM SUGAWARA

2024年度

【販売会社メカニック日記 vol.15】



ステージ11でもたまたまトランスファーのトラブルが発生しました。無理やりニコイチにしたトランスファーの為、シャフトの芯などの精度が荒く、ベアリングの摩耗や焼きつきが再発したと考えられます。

砂丘の頂上でトランスファーがブローし駆動が失われ完全にストップしてしまった600シリーズは、他車のトラックに牽引してもらい、砂丘から平地へなんとか移動。

安定した場所でトランスファーを降ろし、AT(オートマチックトランスミッション)から現場にあるプロペラシャフトをどうにか繋ぎ、リヤアクスルへ直結しリヤ駆動で自走できる処置をしました。

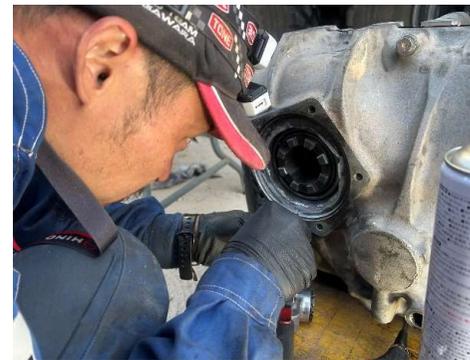
14時過ぎに発生したトラブルからビバークへ到着したのは翌日の午前1時過ぎとなりました。最終ステージの出走に向けて、メカニック達は徹夜の作業に取り掛かりました。



↑砂丘の頂上でトランスファーが故障。動力が伝わらなくなり動けない600シリーズと対処する望月選手



↑トランスファーの使える部品を選定する良川メカリーダー



←トランスファーの分解をする上原メカ(何回目だ?)



←無理やりつないだプロペラシャフトと、センターベアリングの固定



←ラジエーターからの冷却水漏れも同時に発生しており、ラジエーター交換をする柏谷メカ

YouTubeにて現地レポート配信してます！

SNSでも情報配信中！



YouTube



Facebook



Instagram

